



完成現場報告／
焼津市『時の家』

時を
愉^たしみ、
暮^めらしを
愛^めでる。

文 / ココラボ 山崎健治
撮影 / ココラボ 古屋絵理



火を中心とした空間は、
特有の和みの時間が流れている。

家造りは、新しい暮らしの第一歩といわれます。新しい場所で新しい暮らしを始めるということは、今までの暮らしとは違った時間の流れが生まれます。同じ時間でも、場所や空間次第で時間の長さの違いを感じたり、そわそわしたり落ち着いたりするものです。家造りを行い新しい暮らしを始めるのなら、心が落ち着く場所で、豊かな時間を手に入れたいものですね。敷地条件からはじまり、家造りには空間づくりや素材選び、コストまで含めるといろいろな制約がありますが、じっくりと時間を掛けて家造りをしていけば、きつと満足のいく時間を手に入れる事が出来ると思います。今回は、そんな有意義で心地よい時間作りをテーマにしたHさんのお宅をご紹介します。

Hさんと始めてお会いしたのは、今から2年前の完成見学会の時でした。いろいろな話の中で、郊外でも良いから広く明るい土地を探している事や、ゆったりとした時間を過ごせる平屋の家に住みたいと希望されていました。その後、いくつかの土地を検討後に現在お住まいの土地を購入されましたが、この土地は少々特殊な土地で、宅地部分の他に広い雑種地がついた大きな土地でした。当初の希望には合うものの、イメージされていた広さよりも大きく、どう利用するか等少々悩む事も有りましたが、畑や花壇などを作りながらゆつくりと暮らしていくには良い土地だと言うことで、この土地に住む事を決意されました。

折角広い土地を手に入れたので、当初から希望の平屋建ての家にこだわり、プランをたてて行きました。家造りの要望はご夫婦とも様々ありましたが、土地の豊かさや、平屋ならではの落ち着いた空間を活かして行く事を重点に設計が進んで行きました。今回のプランは、平屋の空間の中に、それぞれの目的や時間に合せた場所をいくつか設けています。次ページではそれぞれの場所の目的と雰囲気をお伝えしますので、この場所で流れる時間を想像してみてください。



季節や時間に合せ、
様々に変化できる空間。

2
2



3



III 広間

広間は平屋の屋根形状を有効に使い、高さを十分に確保しています。また、天井の一番高い場所に採光と換気の為の小窓を確保、部屋の雰囲気に変化を与えています。広間は、ホテルなどに例えて言えばロビー的な存在だと考えていますが、薪ストーブの火を中心とした

空間は崩れず、特有の和みの雰囲気を持つています。薪ストーブは、奥さんの下調べにより決定したネスターマーティンのS33。広葉樹に加え、針葉樹も燃やす事も考えられている機種で、木材をガス化させて燃やすため、ゆらゆらとした炎がとても美しいと評判です。また、広間は中庭に向かって大きな

開口を設けています。ガラス戸を全開放させ、デッキを通じて中庭と一体の関係を持つこともでき、障子を上手く利用して、光の調整も出来るように作られています。季節や時間に合せたり、また、友人や来客への対応としても様々に変化できる空間は、広間の機能として必要な要素だと考えています。

やわらかな光が差し込む、
落ち着いた午後のひと時。



1

II 読書コーナー

広間と繋がる一角に、本棚を設置した読書コーナーを設けました。広間とは畳布入りの大きなガラス戸で仕切りも出来るようにし、繋げて、閉じてでも利用できる空間としました。ミュージックルームと広間の間に配置しているのので、両部屋の中間的な存在で、誰もが音楽を聴いたり、本を読んだり出来るスペースになっています。また、コーナーに配置した障子窓からやわらかな光が差し込み、ちょっと落ち着いた午後の時間がお勧めの空間です。こんな場所ですごしたいですね！

読書コーナー



ダイニング・キッチン

家の中で一番機能性を求められる場所がキッチンです。動線をはじめ、冷蔵庫や食器棚、食品庫などといった、それぞれの場所の関係が重要で、忙しい時間をストレスなく過ごす為の緻密な設計が求められる空間です。食事に「食べる楽しみ」だけでなく「作る楽しみ」も加え、それぞれのシチュエーションに合わせた空間作りや、機能的なスペース作りなどの工夫が必要だと感じます。



ミュージックルーム

ご主人最大の野望！ギターを弾いたり、好きな音楽や映像をゆっくりと楽しむプライベートな部屋として造られました。この場所での一日の疲れを癒し、明日への活力を養います。部屋の壁の表面は刷毛引きのバターンを付けたシラス壁にし、部屋の雰囲気を保ちつつも少しでも音を拡散するようにしています。壁の中には遮音の目的で、断熱材や石膏ボードを二重に入れました。



疲れを癒し、活力を養う。

浴室

一日の疲れを落とす場所と云えば、お風呂ですよね。寒い日は、暖かなお風呂に浸かる時間は、とても幸せなひと時です。コストや日々の手入れなどを考えると、温泉のような大きなお風呂にしたいとしても、現実的にはなかなか難しいもの。しかし疲れを癒す場所ならば、心地よい空間にしたいと願う方も多いと思います。Hさんのお風呂を始め、ココロポで造るお風呂は「木

のお風呂」。青森ヒバやサワラといった、耐久性に優れている木材を壁や天井に張り、暖かな雰囲気と香りを楽しんでいただいています。この木のお風呂、意外と手入れが要りません。板材にはカビも生えにくく、換気をまめに行うことで、綺麗に長持ちするお風呂です。湯船に肩までゆつくりと浸かり、心身共にしフレッシュ！そんな時間を与えてくれる浴室です。



5



7



6



8

仕様内容

家族構成	家族3人
敷地面積	410.30㎡
建築面積	143.91㎡
延べ床面積	129.19㎡
構法	在来構法 平屋建て
外部仕上	屋根 ガルバリウム鋼板 外壁 ラスモルタル吹付け仕上げ 外部建具 アルミサッシ+松木製建具 (ベアブラ)
内部仕上	天井 化粧野地板現し 壁 漆喰コテ押さえ 床板 鬼胡桃本実板+杉本実板 内部建具 オリジナル木製建具 浴室 壁・天井/青森ヒバ/床/ササギ300角
設備	キッチン 木製キッチン/天板:ステンレスアライ 浴室 浴槽/TOTO:77171500
設計者	山崎健治
施工	有限会社こころ木造建築研究所

- 5/ 定番となったココロポオリジナルの木のお風呂。石目調の黒いタイルが全体を引き締めている。
- 6/ とてもシンプルに見える洗面化粧台だが、こまごまとした生活用品などが、買い置きも含めぎっしりと収納されている。
- 7/ 寝室の窓には障子をはめ込み、光の調節と合わせて断熱性を高めている。
- 8/ 玄関の壁の一部に、大井川葛布を使った玄関収納を組み込んだ。玄関土間は大磯2分砂利の洗出しで仕上げ、式台にはナラの耳付き一枚板を使った。

いかがでしたか？通信機器の発達やインターネットの普及などで欲しい情報や物が手に入りやすくなり、暮らしが便利になってきた反面、情報に翻弄されたり、仕事や子育てなどに追われて毎日をバタバタと暮らしている方も少なくないと思います。そんな毎日の中でも、空間や素材の変化、また窓からの景色や光をコントロールする事で、より豊かな時間を暮らすの取り入れる事ができるので、はないでしょうか。家造りの中で、耐震性や性能、便利な設備だけを重視するのではなく、有意義で心地良い時間の流れる家について考えることも家造りの中で大切な要素だと思います。一番好きな時間は家に居る時間…そんな家造りをしたいと思います。

(文)ココロポ 山崎健治

